

FM ちゃお収録記録（センター「つどい」 月報より）

●2018（平成 30）年度

| No. | 収録日 | 収集内容 |
|-----|-------|--|
| 1 | 6月21日 | <p>アトリエウフ 多葉早希氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長屋を活用したお店づくり、お客さんも一緒に楽しめる空間づくりと人とのつながり方についてお話をいただいた。 |
| 2 | 7月20日 | <p>NPO 法人河内木綿藍染保存会 梅村保子理事長・平野和美氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年 11 月 18 日に国際交流としてチェコスロバキアから訪問があった。 ・ 泉大津市からも見学があり、タオルで有名な地であるが、収穫後の綿繰り・糸繰り・織など綿を加工する施設が泉佐野市にはないため、八尾まで来られた。 ・ 河内木綿は 2 種類あり、山根（やまねき）木綿と久宝寺木綿がある。 ・ 中環の森での「夢のコットンロード」は 2010 年から本格的にスタート。2007 年は久宝寺小学校にも来てもらった。 ・ 染物の柿渋の型は、キク・ボタン・きっしょう・喜吉・あさがおなど、江戸時代からある。また花菱もある。 ・ 河内木綿の暖簾が、八尾市のふるさと納税の返礼品にもなった（八尾の史跡の書籍付）。 |
| 4 | 8月23日 | <p>学生団体 はちのじ 代表 足立哲氏・副代表 山野上洸平氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 八尾の人達と出会って、八尾に愛着を持ち、八尾に携わりたい気持ちから 2 年前に生まれた団体。 ・ 様々なプロジェクトを実施しており、最近では 7 月の「コンペイトウセタ祭り with Craft March」に出展し、イベントのコンセプトである【いつもの街で「たったひとつ」が見つかる手作り市】として石ころでイラストを描くことやスタードームに短冊を書くことに携わった。 ・ 学生団体はちのじへの参加のきっかけは、大学センター試験後、大学で何をしようかと考えていた時に出会い参加した。 ・ 「こんにちは」と言えるあたたかさ。人間関係がある八尾の場所で活動したいという気持ちで活動をしている。 ・ 大学では、総合社会学部 環境・まちづくり系を専攻しており、自然環境といったエコの部分や社会環境といったまちづくりの部分などを学んでいるが、自分たちは学生団体はちのじの活動を通じて、組織や団体運営、環境活動など、自分たちが当事者として講義を受けられるので、講義がわかりやすく学ぶことが出来る。 ・ 学生から八尾に携わり 4 年目になるが、知り合いから「八尾」と大きな字で書いた前掛けをもらったのがとてもうれしくて、八尾以外に住む人間が八尾の人間として認めてもらった気分になった。 |
| 5 | 9月11日 | <p>World Seed 岡見 厚志氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年 9 月 22 日開催のいきいき八尾フェスティバルについて 2018 年度のパンフレット案を用いてお話いただいた。 |
| 6 | 2月6日 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪経済法科大学学生が「ECO～る∞KEIHO」という環境活動グループとして活動しており、代表者が出演され、活動内容をお聞きした。これまでの活動をお聞きしながら、つどい業務責任者も森林整備等で携わっていることも含めて、八尾の自然環境活動についてもお話をを行った。 |
| 7 | 3月7日 | <p>八尾市リサイクルセンター学習プラザめぐる 遠嶋 敦子氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠嶋さん、学生インターンの業務内容をお聞きした。 ・ 今年度、来年度の「めぐる」での活動やイベントを紹介していただいた。 ・ 「つどい」からは、めぐるが出来た経過や指定管理者の NPO 法人の内容などを情報提供した。 ・ 3R として「ごみ」のあり方・意識について考え方を提供したことで、「めぐる」でも小学生の見学対応にその考え方を提供することになった。 |